

# 北秋田市総合戦略検証会議 事業評価シート

1. 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた I S E D O T A I ブランド創造事業
2. 地域連携DMO形成事業
3. 地域産品磨き上げ事業

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けたISEDOTAIブランド創造事	担当部課名
総合戦略基本目標	1-④ 観光・レクリエーションの振興	生涯学習課文化係
交付金 種別	地方創生加速化交付金(2回目)	
事業目的(一覧表F列)	<p>当市には、世界遺産登録を目指す国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」があり、今年4月には遺跡に隣接した情報発信基地として、「伊勢堂岱縄文館」が完成いたしました。しかしながら、市内外での伊勢堂岱遺跡の知名度はそれほど高くないことから、世界遺産登録に向けて取り組みが十分できていない状況となっております。このため国内唯一の4つのストーンサークルや板状土偶をモチーフにしたロゴマーク、オリジナルサウンド、多言語での情報発信ツールなどの多様なコンテンツを基に、伊勢堂岱縄文館を核とした総合的なブランド戦略を進め、知名度の向上を目指します。</p> <p>また、確立したブランドコンセプトを活かしたプロモーション活動によって、縄文関連商品や飲食メニューの開発・販売や新たな観光ルートとして作り上げることで、国内外からの観光客をはじめとする交流人口の増加を目指します。</p> <p>さらに、ブランドコンセプトの確立や縄文関連商品の開発には、世界遺産登録に向けた市民全体の意識の醸成と商品開発の成功事例を受けたさらなる商品開発の掘り起こしなどの相乗効果につなげます。</p>	

事業費(平成28年度)	交付額(実績額)	備考欄
	7,406,100円	
KPI	指標及び目標値	実績値(一覧表H列)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢堂岱縄文館の来館者数 30,000人</li> <li>観光客数1,700千人</li> <li>年間宿泊客数90,000人</li> </ul>	<p>【参考H28年実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数合計10,184人</li> <li>観光客数(市外訪問者)1,215,744人</li> <li>年間宿泊者数44,921人</li> </ul>

事業の取組状況と課題(一覧表I列)	
<p>取り組み内容は、①伊勢堂岱遺跡専用ホームページの制作、②縄文館での再生するための遺跡をイメージした音楽制作、③スマートフォンやタブレット端末によるガイドシステム製作(アプリ製作)、④ブランド戦略のためのロゴマークの制作を実施。</p> <p>課題として、「ロゴマークの普及」「ホームページやガイドシステムが英語に対応しているが、増加する訪日外国人がアプリをダウンロードするためのWifi環境の整備」が挙げられる。</p>	

## ◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	13	有効性評価	15	効率性評価	11
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	5	他に効率的な手法はないか	3
市民のニーズは高いか	3	成果が期待できるか	5	コスト削減の余地はないか	3
目的・対象は妥当か	5	政策目標の実現に貢献しているか	5	受益者負担は適当か	5

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
39 / 45	改善して継続	地元事業者呼びかけに、ロゴマークの使用を呼びかけ、ブランド化をより推進する。訪日外国人へのWifi環境整備については、H29年度に新たに事業化を予定している。

..... 以下は検証会議で使用 .....

## ◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	有効性評価	効率性評価
市が関与すべき事業か	事業は効果的か	他に効率的な手法はないか
市民のニーズは高いか	成果が期待できるか	コスト削減の余地はないか
目的・対象は妥当か	政策目標の実現に貢献しているか	受益者負担は適当か

【参考:評価基準】

総合評価	検証会議による評価	【検証会議 評価基準】	5 4 3 2 1
39 / 45		<p>A かなりの効果がある</p> <p>B 相当程度の効果がある</p> <p>C あまり効果が見られない</p> <p>D 効果が乏しく改善の必要ある</p>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>的り全 切り概 など 余検 適切全</p> <p>、く、で、ね い ち 地 討 切、く</p> <p>最大そ あ効そ ら が ・ 切、非そ</p> <p>適委の る果の と あ改 あ効う</p> <p>で効と 的と も あ善 る率で</p> <p>あ果お ・お い する 率、は</p> <p>る 適 え する 不</p>

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	地域連携DMO形成事業	担当部課名
総合戦略基本目標	1-④ 観光・レクリエーションの振興	商工観光課観光振興係
交付金 種別	地方創生加速化交付金	
事業目的 (一覧表F列)	観光地域づくりのブランド化を確立するため、隣接する市町村との広域的な取り組みを行うことで北秋田市及び連携エリア全体の交流人口増加を図り、地域経済の活性化を促す。	

事業費 (平成27年度)	交付額(実績額)	備考欄
	10,000,000円	
KPI	指標及び目標値	実績値(一覧表H列)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行消費額 15,664百万円</li> <li>延べ宿泊者数90千人</li> <li>来訪者満足度 55%</li> <li>リピーター率 28調査+3%</li> <li>訪日外国人受入数 5,000人</li> <li>目標年月:平成32年3月</li> </ul>	【H28年実績】・旅行消費額 9,287百万円・延べ宿泊者数 44千人・来訪者満足度(連携エリア総合満足度79%) ・リピーター率(連携エリア2回以上72%)・訪日外国人受入数(宿泊者数321人、入込2,355人)

事業の取組状況と課題(一覧表I列)	
戦略の柱は「デジタルマーケティング」と「受入体制整備」。取り組み内容は、①マーケット調査「地域経済構造分析(日経研)、SNS調査(Netbase)」を実施、②プロモーション「PR動画(123万回以上再生)、WEBサイト(宿泊予約可)、直接セールス(台湾トップセールス、台湾商談会、VISIT JAPANトラベル)を実施」③受入体制整備「おもてなしセミナー・研修・WS(全8回・160名参加)、指さし会話帳(4か国語)、4市町村パンフ(3か国語)を作成。課題として、「地域事業者の盛り上がり」に偏りがある、「話題となったPR動画の観光への寄与度」などが挙げられる。	

### ◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

<table border="1"> <tr> <th>妥当性評価</th> <th>13</th> </tr> <tr> <td>市が関与すべき事業か</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>市民のニーズは高いか</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>目的・対象は妥当か</td> <td>5</td> </tr> </table>	妥当性評価	13	市が関与すべき事業か	5	市民のニーズは高いか	3	目的・対象は妥当か	5	<table border="1"> <tr> <th>有効性評価</th> <th>14</th> </tr> <tr> <td>事業は効果的か</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>成果が期待できるか</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>政策目標の実現に貢献しているか</td> <td>4</td> </tr> </table>	有効性評価	14	事業は効果的か	5	成果が期待できるか	5	政策目標の実現に貢献しているか	4	<table border="1"> <tr> <th>効率性評価</th> <th>12</th> </tr> <tr> <td>他に効率的な手法はないか</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>コスト削減の余地はないか</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>受益者負担は適当か</td> <td>4</td> </tr> </table>	効率性評価	12	他に効率的な手法はないか	4	コスト削減の余地はないか	4	受益者負担は適当か	4
妥当性評価	13																									
市が関与すべき事業か	5																									
市民のニーズは高いか	3																									
目的・対象は妥当か	5																									
有効性評価	14																									
事業は効果的か	5																									
成果が期待できるか	5																									
政策目標の実現に貢献しているか	4																									
効率性評価	12																									
他に効率的な手法はないか	4																									
コスト削減の余地はないか	4																									
受益者負担は適当か	4																									

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td>39 / 45</td> </tr> </table>	総合評価	39 / 45	<table border="1"> <tr> <th>今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>改善して継続</td> </tr> </table>	今後の方向性	改善して継続	<table border="1"> <tr> <th>今後の取り組み方針(一覧表J列)</th> </tr> <tr> <td>周遊ルート構築のため、より広域的な連携を構築。国内外でのプロモーション。台湾旅行サイトでの情報発信によりFIT誘客を図る。受入体制整備のためのおもてなし研修、旅行商品造成などにより地元事業者の機運を高めていく。</td> </tr> </table>	今後の取り組み方針(一覧表J列)	周遊ルート構築のため、より広域的な連携を構築。国内外でのプロモーション。台湾旅行サイトでの情報発信によりFIT誘客を図る。受入体制整備のためのおもてなし研修、旅行商品造成などにより地元事業者の機運を高めていく。
総合評価								
39 / 45								
今後の方向性								
改善して継続								
今後の取り組み方針(一覧表J列)								
周遊ルート構築のため、より広域的な連携を構築。国内外でのプロモーション。台湾旅行サイトでの情報発信によりFIT誘客を図る。受入体制整備のためのおもてなし研修、旅行商品造成などにより地元事業者の機運を高めていく。								

..... 以下は検証会議で使用 .....

### ◆検証会議による客観的検証

<table border="1"> <tr> <th>妥当性評価</th> <th></th> </tr> <tr> <td>市が関与すべき事業か</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民のニーズは高いか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目的・対象は妥当か</td> <td></td> </tr> </table>	妥当性評価		市が関与すべき事業か		市民のニーズは高いか		目的・対象は妥当か		<table border="1"> <tr> <th>有効性評価</th> <th></th> </tr> <tr> <td>事業は効果的か</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果が期待できるか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>政策目標の実現に貢献しているか</td> <td></td> </tr> </table>	有効性評価		事業は効果的か		成果が期待できるか		政策目標の実現に貢献しているか		<table border="1"> <tr> <th>効率性評価</th> <th></th> </tr> <tr> <td>他に効率的な手法はないか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減の余地はないか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担は適当か</td> <td></td> </tr> </table>	効率性評価		他に効率的な手法はないか		コスト削減の余地はないか		受益者負担は適当か	
妥当性評価																										
市が関与すべき事業か																										
市民のニーズは高いか																										
目的・対象は妥当か																										
有効性評価																										
事業は効果的か																										
成果が期待できるか																										
政策目標の実現に貢献しているか																										
効率性評価																										
他に効率的な手法はないか																										
コスト削減の余地はないか																										
受益者負担は適当か																										

【参考:評価基準】

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td> / 45</td> </tr> </table>	総合評価	/ 45	<table border="1"> <tr> <th>検証会議による評価</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	検証会議による評価		<p>【検証会議 評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A かなりの効果がある</li> <li>B 相当程度の効果がある</li> <li>C あまり効果が見られない</li> <li>D 効果が乏しく改善の必要ある</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>的り全</td> <td>切り概</td> <td>など</td> <td>余検</td> <td>適い全</td> </tr> <tr> <td>、く</td> <td>で、ね</td> <td>い</td> <td>地討</td> <td>切、く</td> </tr> <tr> <td>最大そ</td> <td>あ効そ</td> <td>ら</td> <td>が・</td> <td>で非そ</td> </tr> <tr> <td>適委の</td> <td>る果の</td> <td>と</td> <td>あ改</td> <td>であ効</td> </tr> <tr> <td>で効と</td> <td>的とお</td> <td>も</td> <td>る善</td> <td>る率で</td> </tr> <tr> <td>あ果お</td> <td>・お</td> <td>い</td> <td>は</td> <td>・は</td> </tr> <tr> <td>る</td> <td>適</td> <td>え</td> <td>る</td> <td>不</td> </tr> </table>	5	4	3	2	1	的り全	切り概	など	余検	適い全	、く	で、ね	い	地討	切、く	最大そ	あ効そ	ら	が・	で非そ	適委の	る果の	と	あ改	であ効	で効と	的とお	も	る善	る率で	あ果お	・お	い	は	・は	る	適	え	る	不
総合評価																																															
/ 45																																															
検証会議による評価																																															
5	4	3	2	1																																											
的り全	切り概	など	余検	適い全																																											
、く	で、ね	い	地討	切、く																																											
最大そ	あ効そ	ら	が・	で非そ																																											
適委の	る果の	と	あ改	であ効																																											
で効と	的とお	も	る善	る率で																																											
あ果お	・お	い	は	・は																																											
る	適	え	る	不																																											

# 北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 検証シート

事業名	地域産品磨き上げ事業	担当部課名
総合戦略基本目標	基本目標1 産業振興による仕事づくり	商工観光課観光振興係
交付金 種別	地方創生推進交付金	
事業目的 (一覧表F列)	マーケットインによる地域の物産資源商品の磨き上げ、ブランド化、高付加価値化を進め、国内外への販路拡大を図るとともに地域の新たな商品の開発、情報発信に取り組み、観光との相乗効果を高め、交流人口増加、地域産業の振興につなげる。	

事業費 (平成27年度)	交付額(実績額)	備考欄
	3,584,500円	
KPI	指標及び目標値	実績値(一覧表H列)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝豆加工品の販売額 211百万円(H31)</li> <li>地域資源を活かした新商品の開発 15件(H30)</li> <li>地域資源を活かした起業件数 1件(H30)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝豆加工品販売額 39百万円(推計)</li> <li>地域資源を活かした新商品の開発(開発検討段階)</li> <li>地域資源を活かした起業件数(なし)</li> </ul>

事業の取組状況と課題(一覧表I列)	
<p>マーケットインによる地域産品磨き上げを図るため、枝豆の商品開発に取り組んだが、枝豆自体の市場の評価が芳しくないこともあり、お菓子や土産品の商品開発については見合わせている状況。新たな視点での商品開発については、商品を海外で展開するためアメリカでの「枝豆」に関する市場調査、マーケティング調査を実施。また、既存産品の磨き上げを行うため、シェフツアー・レストランプロモーション事業として、都内において地元食材を使った新たな料理や地元食材を紹介し、意見収集を行った(4飲食店参加)。また、有名シェフやメディアの招聘を行って地元の特徴的な食材のPRを行った(地元生産者・加工事業者12ヶ所視察)。食品・飲料専門展示会(FOODEX JAPAN)への出展。課題として、枝豆の品質向上には生産・加工体制の仕組みづくりが必要。地元事業者の機運を高めていく体制作り。</p>	

## ◆担当部署による自己分析(各項目5点満点、総計45点満点)

妥当性評価	12	有効性評価	11	効率性評価	9
市が関与すべき事業か	5	事業は効果的か	4	他に効率的な手法はないか	3
市民のニーズは高いか	3	成果が期待できるか	4	コスト削減の余地はないか	3
目的・対象は妥当か	4	政策目標の実現に貢献しているか	3	受益者負担は適当か	3

総合評価	今後の方向性	今後の取り組み方針(一覧表J列)
32 / 45	改善して継続	枝豆は、海外の市場調査をもとに、新たな商品・加工品開発を進め販路開拓・拡大を目指す。また、既存商品について各種プロモーションなどを展開して磨き上げを図る。取り組みは外部専門家などの知見を最大限活用する。

..... 以下は検証会議で使用 .....

## ◆検証会議による客観的検証

妥当性評価	有効性評価	効率性評価
市が関与すべき事業か	事業は効果的か	他に効率的な手法はないか
市民のニーズは高いか	成果が期待できるか	コスト削減の余地はないか
目的・対象は妥当か	政策目標の実現に貢献しているか	受益者負担は適当か

【参考:評価基準】

総合評価	検証会議による評価	【検証会議 評価基準】	5 4 3 2 1
32 / 45		<ul style="list-style-type: none"> <li>A かなりの効果がある</li> <li>B 相当程度の効果がある</li> <li>C あまり効果が見られない</li> <li>D 効果が乏しく改善の必要ある</li> </ul>	<p>5 4 3 2 1</p> <p>的り全 切り概など 余検 適切全 、く、で、ねいちら 地討 切、く 最大そ あ効そら が・改 非そ 適委の る果の と あ改 効う で効と 的お も 善 率で あ果お ・お いす ーは る 適 え する 不</p>